

2018 年度 A E D 訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2018 年度分)

団体名	一般社団法人 のあつく自然学校		
			
			

キャンプでは、自社施設の古民家おおすぎやそれ以外の市街地から離れた場所での活動が多くなる。その際に万が一の事故が起きた場合、カウンセラー（ボランティアスタッフ）達も迅速な対応ができるようになることを目的とした。

初めは座学で、実際に起こった事故事例の紹介や傷病者評価システム、SOAP ノートの書き方、リスクマネジメントの練習を行った。その他、キャンプ中に多い怪我（擦り傷、切り傷、火傷）の処置の仕方、熱中症の対処、予防について、キャンプに参加する子どもにも多い喘息やアレルギーの対処法を細かく説明した。その後座学で学んだ CPR の流れをゆっくりと確認し、2 人 1 組で実技を行った。

こちらから取上げて口出しはせずに、カウンセラー達自身で考え、意見を交換することで、より知識の定着を促した。

最後に当団体でキャンプ中常備している救急パックの中身を使い方も含め確認した。

この救急法研修を行うことで、カウンセラー達がキャンプに参加した際の「どうすればいいのか」という不安を減らすとともに、子どもが怪我をした際にすばやく動くようになった。